

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス ビープラスⅡ		令和8年3月10日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	活動のスペースを変えたり低学年や高学年で1F・2Fと使い分けて活動している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2		・こどもの人数に対して人員が足りないと感じる事がある ・補助的な職員が必要な時がある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	視覚的支援を用いている	バリアフリーではない箇所がある(階段・段差等)
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	清潔・整理整頓を心がけている 平日は職員が清掃をし、学校休ではお子様達と一緒に清掃活動を実施	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	しっかりと空間があり、心落ち着ける場所が設けてある	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	・毎日のミーティングでしっかり周知している ・前日の振り返り、支援のやり方の見直しをしている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	ホームページに評価及び業務改善内容等を記載して掲載している	保護者様からいただいたご意見をもとに、業務改善に繋げている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・毎日のミーティングで報告・意見などの話をしている ・話しやすい雰囲気が良い	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		現在、第三者による外部評価は行っていない 改善が行えるよう検討を行う
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・1年に2回程外部研修を実施している ・多方面の研修が今後の支援力向上に繋がっている	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・保護者様に寄り添った内容で作成されている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	全職員が共通認識で理解出来るよう、朝礼時や個人ファイルにて共通理解に繋げている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・毎日の会議などで情報共有を行っている ・それぞれのお子様に寄り添った支援を心がけています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	個々のニーズに応じた支援を為にアセスメントを職員間で共有、意見交換を行っている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	個別支援計画書に必要に応じて記載しており、具体的内容も設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	主に主体となるスタッフを選定している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・ある程度の基本の活動はあるものの季節や楽しそうな活動を取り入れている ・固定曜日で偏らないよう工夫している	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1		自由活動という枠はあるが、個別への活動としての支援で考えると乏しいと考える
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	スタッフ一人に頼る事が無いように、お子様の支援が職員で共有できるようにしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	ミーティングを翌日にして課題などを促している	後日に振り返りを行っているので、当日ではないため、いいえ、を記載
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	日々の記録をHUGシステムを活用し記録として残して、全従業員は確認し検証する事に繋げている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	お子様の様子を見ながら、従業員間で意見を言い合い、見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	自立支援や体験活動（調理など）、自分の気持ちを言葉で伝えられるように、など	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・「やりたくない」気持ちなども尊重しながら自己選択が出来るよう支援を実施している ・自由活動でお子様の意見を取り入れている	
関係機関や保護者との連携	26	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	基本的には児童発達支援管理責任者が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	相談事業所へ学校も含めた会議の提案も依頼して実施できるようにしている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	学校お迎えや担当者会議などで情報共有を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	5		対象年齢のお子様がいらない為、必要に応じて過去の情報などは保護者様から提供していただく場合はある
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		今後も対象のお子様がいるので、積極的に連携に努めていきたい
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5		地域との連携、と考えると乏しい印象で今後の課題と感じる
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	他事業所の放課後等デイサービスとの交流が増えてきている	今後の課題と感じる
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		一部従業員しか参加していない為、今後は積極的に参加できる機会を作っていきたい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎の際やHUGシステムでの情報共有、担当者会議で保護者様と話し合いをおこない共通理解の機会を作って情報共有を行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	・保護者会などで実施している ・ペアトレ研修を受けた職員が在籍	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	契約時に運営規定、支援プログラム、利用者負担額、実費等について保護者様に説明を実施している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1	・かなりの時間をかけて実施している ・保護者会やアンケートを行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	1	個別支援計画書を作成し保護者様に同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	時には自宅で訪問し、面談する時間を作っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	2	保護者会や月に1回のこども食堂などで交流する機会を設けている	参加者が半数以下の為、まだ少ないと感じる
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情窓口の設置、対応できる体制を整備している（苦情があった場合でも管理者が対応出来るような仕組みを作っている）	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	今後はInstagramの更新頻度を上げていき、更に活用を活発にしていきたい	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・保管庫を個人情報を施錠して管理している ・写真掲載などにも細心の注意を払っている	
	44	障がいのあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	必要に応じて保護者様への連絡事項は送迎時、または面談にて意思疎通を図っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	コラボ活動、〇〇体験（職業体験）などを実施している	地域住民との交流は今後の課題と感じる
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	研修等での参加や不参加の職員でも後日情報共有を実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	年間に必要な回数の災害訓練を実施し、且つ実施前と実施後のフィードバックを職員とお子様を実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	アセスメント時、または服薬に関する事前情報は常に全従業員に情報共有を行っている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	アセスメント時にアレルギー情報は全従業員に共有をし対応を実施している（職員の目に見える場所に掲示している）	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	年間に必要な回数の訓練や研修を実施している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	契約時に取り組みについての説明を周知している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	都度職員全員で話し合いを実施している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	年間に必要な回数の訓練や研修を実施している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	身体拘束についての合意書を得ている		